



## 犬飼医院長 挨拶



西部総合病院医院  
院長 犬飼 敏彦

麗らかで過ごしやすい春の季節を迎えましたね。  
2年余となるパンデミックのコロナ禍もそろそろ収束するものと期待していますが、  
当院としては今後も院内感染対策を怠りなく継続していく方針です。

当院は地域密着型のケアミックス型病院として地域医療の一役を担っていますが、その一環として“訪問リハビリ”には以前より大変力を入れております。訪問リハビリは患者様の社会復帰が大きな目標であります。単なる身体の機能回復だけではなく、会話とスキンシップを通じたお互いの心の語り合いにより、患者様が我々医療スタッフより“元気をもらった”という実感を得ることが大切であると思われま。 “健全なる精神は健全なる身体に宿る” という諺の如く、心身共に元気になって頂くことが訪問リハビリの真のゴールと云っても過言ではないでしょう。

皆様に当院の訪問リハビリを大いに活用していただき、是非とも明るく豊かな人生を歩んで下さい。

今年度より火曜日の訪問リハビリ会議の医師が原医師から浅井医師へ変更になります。  
どうぞよろしく願いたします。



### 原医師挨拶

2年間訪問リハビリ会議で患者様やご家族様とお話しし、医師として本当にたくさんの方の事を学ばせていただきました。また、利用者の皆様方の頑張りや笑顔がとても励みになり、わたしも今できる仕事を頑張りたいと非常に勇気づけられました。

リハビリ会議として皆様に関わらせていただくのは一旦終わりにはなっていますが、今後どこかでまたお会いできる機会を楽しみにしています。本当にありがとうございました。



浅井 久美子 医師



を延ばそう!!

## 第1回 介護予防事業の紹介

介護予防・日常生活支援総合事業は『いつまでも元気で、介護を必要としない生活を送る』ためにリハ専門職である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が地域の自治会や住民主体の通いの場へ出向き介護予防体操の実践や認知症の予防、誤嚥性肺炎の予防等について働きかけを行っていくものです。当院は、さいたま市地域リハ活動支援事業・一般介護予防事業における協力医療機関の役割を担い、現在5名（理学療法士 中島、藤江、仙石、作業療法士 齋藤、言語聴覚士 杉田）がさいたま市介護予防専門員として活動を行っています。

次号より具体的な活動内容について紹介していきたいと思ひます。



【地域情報】『さいたま市認知症高齢者等見守りシール事業』が始まりました。

※ お申し込みの際はケアマネジャーさんにご確認下さい。 詳細は⇒ QRコードをご確認ください。



# 【できた!! 報告会】

～特別企画～

No.24

## 院内リハビリー訪問リハビリ役割紹介 西部総合病院リハビリテーションの連携

訪問リハビリを利用している方の中には、一時的に西部総合病院に入院される方もいらっしゃいます。今回は訪問リハビリと入院リハビリの特徴についてお伝えします。



### 院内リハビリ

～病院の中の環境・機器を使ったリハビリ～

リハビリ室・歩行器・装具等



パンジー (介助) 浴

プラットホーム



リハビリの様子



### 訪問リハビリ

～自宅・地域の環境・道具を使ったリハビリ～

生活動作練習



屋内趣味活動  
家事動作練習



屋外趣味活動・交通機関練習



訪問リハビリを利用しながら日々の在宅生活を送る中でも、ご本人の心身機能や介護力が変化することがあります。そんな変化が生じた際に、入院でのリハビリを行うことで、心身機能・介護力の調整を行うこともできます。

日頃在宅で関わっている訪問リハビリスタッフと院内リハビリスタッフが協力することで、個々の生活に合わせた途切れのないリハビリテーションを提供することができます。

### 【利用者さんの感想】

○入院中は毎日リハビリで楽しみだった。家でのリハビリは1週間に2度、先生方にお会いでき、外の空気が入るので新鮮でした。

○半年に1回、地域包括ケア病棟の入院を利用しています。自宅では訪問リハビリで基礎体力がついて、入院中は自宅で出来ないようなリハビリ訓練をして頂いています。毎回少しずつですが出来る事が増えてきてます。

## 【できた!! 報告会】

～インタビュー～

No.25

身近な道具を使って作る!!

リーチャーとリーチャー置き



私は左上下肢に麻痺があり、着替えの際に左足先まで手が届かず困っていました。

そこで、ケアマネジャーさんの勧めもあり、リーチャーを購入しました。リハビリでリーチャーを練習しつつ、屋内での持ち運びを考え、Pick up 歩行器に搭載し、どこでも使用できるように検討しました。100円ショップの身近なものを材料として組み合わせ作成しました。ポイントはフィンガーローラーで固定しているので、着脱がスムーズなところです。リーチャーがどこでも使えると自分で出来る事が増え、家族に頼むことも減ります。

これからも自分の出来る事を一つずつ増やしていきます。

## 【できた!! 報告会】

～インタビュー～

No.26

オリジナルドアストッパー



左上下肢に麻痺があり、家族の手助けやヘルパーや地域のサービスを活用して1人で生活している方がいます。ご自宅の玄関ドアが重くて、さらに既製品のドアストッパーを使うことが難しく困っていました。

そこでホームセンターに売っている材料で本人が使いやすいドアストッパーを制作してみました。ドアの開閉練習もして、玄関先の軽いに荷物なら取りに行けるようになりました。

本人より：「周りのたくさんのかたの手をお借りして過ごしています。1人で暮らすことには不安がいっぱいありましたが、1つずつリハビリ時間に解消していただき、更に自信を持たせていただいています。ドアが開けられたことには私自身がビックリしました!また世界が広がりそうです。」

## 利用者さんコラム

### 生まれも育ちも桜区神田 Vol.01

私の知る「西部病院のできる前」P.N：キヨッチ

約40年前、西部病院ができる前は沼地の田んぼで、農家の人は田植えをするときは、腰まで水につかるほどでした。広さ的には西部病院と上大久保中学校の部分だったと記憶しています。

そんな場所に病院ができることを知ってビックリしました。私が中学生の頃は、町医者にかかることが多く、与野まで行かないと病院がなかったですが、まさかこんな近くに病院ができるとは思いませんでした。



P.N キヨッチ  
神田で生まれて74年あまり

# 報りハギャラリー ~ 写真で繋がる訪問リハビリ ~



さくらんぼ



楽しみながら出来た!



ランプシェード



ベッドの上でも  
キーホルダー作成



散歩

日々の生活を楽しく彩る  
それぞれの趣味活動♪



ベリーのタルト

前号掲載のレシピで作リ、美味しくできました



古着で作りました!  
デニムバック



笑春風

ステイホーム × パソコン × リハビリ

## 2022春



趣味のパソコン改造  
SSDの増設



パソコンでカラオケ  
楽しく発声練習



広報誌『報りハ』  
作成中!!

